

# 室戸捕鯨関連文化遺産

高知県・室戸市



山見小屋跡



山地土佐太郎の碑



津呂王子宮

寛永元年（1624）に始まる土佐の突き取り捕鯨は、津呂組、浮津組という2つの鯨組が、和歌山県太地町より網掛け捕鯨を教えてもらうことで飛躍的に発展。以後350年間に亘りほぼ絶えることなく続き、近代捕鯨においては山地土佐太郎、柳原勝紀、志野徳助、泉井守一、小松菊一郎など数多くの捕鯨人を輩出。商業捕鯨の一時休止となるまで日本の捕鯨の中心的な活動を行い、捕鯨に関する史跡や遺跡、顕彰碑、絵馬などが数多く残る貴重な地域である。

< 捕鯨に関連する史跡・遺跡など >

椎名・山見小屋跡 - 来遊する鯨を発見するため山見小屋が置かれ、山見番が詰めていた

浮津・鯨浜 - 鯨の解体場所

室津港・津呂港 - 卓越した土木技術で野中兼山により掘削され捕鯨船団の基地港となった

< 捕鯨に関連する史跡・遺跡など >

金剛頂寺 - 泉井守一氏により建てられた捕鯨八千頭供養塔等の鯨組関連のものが多く残る

中道寺 - 浮津組初代頭元、宮地武右衛門が建てた寺。鯨の位牌等が残る

浮津・八王子宮 - 浮津組の氏神。泉井守一、小松菊一郎砲手以下46名が第一回南氷洋出漁からの帰国後神恩を謝して鳥居を奉納

津呂・王子宮 - 津呂組の氏神。数多くの寄進物が境内に残る

三津港 - 津呂組・浮津組が交代で使用した港。現在も引き揚げのスロープ跡が残る



津呂港



金剛頂寺



浮津鯨浜



浮津八王子宮

(引用 高知県教育委員会ホームページ <http://www.kochinet.ed.jp/>)

TOPICS

- ・土佐室戸鯨舟競漕大会 7月第3日曜日 開催
- ・室戸岬灯台まつり 11月1日に近い日曜日 開催
- ・特産品：深層水関連品、金目鯛など

お問い合わせ先

室戸市 水産課

TEL / 0887-22-1111

URL / <http://www.city.muroto.kochi.jp/>

【交通】

バス / 奈半利駅から約40分

